

グローバルヘルス領域で世界最高峰に位置するロンドン大学衛生・熱帯医学大学院 (LSHTM) と戦略的パートナーシップ



PARTNERSHIP

熱帯医学・グローバルヘルス研究科

200名を超える修士を輩出し、世界各地のグローバルヘルス最前線で活躍

**博士前期課程
教育モジュール強化
【コースワーク中心】**

LSHTMの教員と教材を基盤として構築した博士前期課程の2年間は、Joint PhDを完遂できるレベルの高度な知識と技術を学ぶ

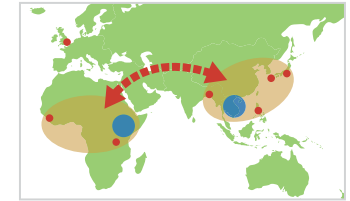
**博士後期課程
LSHTMとの「Joint PhD」
【リサーチワーク中心】**

LSHTMの学籍を取得し、多様な専門領域における傑出した専門家・実務者からハイレベルな指導を受け、両校で認められた学位を取得

5年一貫のカリキュラム



野口英世アフリカ賞受賞者であるPeter Piot学長及びBrian Greenwood教授を筆頭に、ロールモデルとなるべき世界トップレベルのLSHTM教員・研究者たちと共に、世界を動かす国際共同研究・教育・対策プロジェクト等に参画



本学の持つケニア・ベトナム・フィリピンの海外教育研究フィールドとLSHTMのガンビア・ウガンダ研究フィールドを繋いだ、アフリカ-東南アジア教育研究フィールドネットワークの構築

これまでの実績

LSHTMと連携した肺炎球菌ワクチン研究プロジェクトへビル&メリнда・ゲイツ財団から総額12億円の研究費を獲得 など

**世界を動かす
グローバルヘルス
人材育成プログラム**

75年の歴史と伝統に基づいた感染症研究環境

日本のグローバルヘルス中核拠点

熱帯医学研究所

- 日本を代表する感染症・熱帯医学研究拠点 -



- 文部科学省の支援による2つのCOEプログラムが10年に渡り継続される
- WHO「熱帯・新興ウイルス感染症に関する」研究協力センターに指定

海外感染症研究拠点

- アジア・アフリカに展開 -



- ・ケニア拠点
多くの常駐スタッフを抱える国立大学最大規模のアフリカ拠点
- ・ベトナム拠点
世界トップレベルの疫学研究フィールドを確立

国立国際医療研究センターとの連携



- 日本の国際保健政策の中心にあるNCGM専任教員も研究指導に参画
- サテライトキャンパスを設置し、首都圏の卓越した人材を迎える門戸としての機能を果たす
- OSDGs研究センターの設置

民間企業やNPO/NGOとのネットワーク



**医歯薬学総合研究科
新興感染症病態制御学専攻**



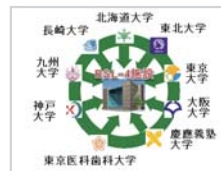
- 全国唯一の感染症に特化した博士課程
- 博士課程リーディング・プログラム「熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成プログラム」

高度安全実験 (BSL-4) 施設



グローバルヘルスの重要課題であるエボラウイルスなどBSL-4病原体を取り扱える卓越した教育・研究基盤(2020年稼働予定)

感染症共同研究拠点



感染症に対する世界の安全・安心の向上に資することを目的とした感染症研究コンソーシアムを結成

省庁間を越えた政府機関との連携

